



Zoularisの紹介

Zoularisの特徴

- NetBSDを中心としてSolaris, Linux, Darwinも同時に使ってる環境でパッケージ管理を統一してやることができる。
 - >管理コストが下がる?
- Solarisにはsourceから突っ込めるパッケージングシステムが無いのでbinary配布禁止のライセンスを突っ込む場合に有利。
例えばqmail, djbdns等
- SolarisであればgensolpkgでSolaris用のpkgを作成できる。

Zoularisの短所

- 各システム標準のパッケージシステム以外にNetBSDのpkgシステムを新たに追加するようになる事になり、混乱は生じやすくなる。
- sourceからのインストールが非常に面倒。

Zoularisのインストールは...

- Solaris8(SPARC)だとbinary packageがあるのでそれをpkgaddする。
- sourceからbuildして突っ込むのは非常に難解で大変それでもsourceからコンパイルする場合はbmakeを作ってから
pkgsrc/cross/zoularis からmakeを行う。

今後は (野望)

- Solaris9への対応

->binaryは問題なく突っ込めたから必要なさ
げ?

- AIX, Tru64, HP-UX, BSD/OS等他のOSへの対応

- NSUG CD-ROMへつっこむ

(同時にNetBSD/sparc, sparc64も突っ込みた
いという希望)

課題(?)

- ipfのMakefileみたいに簡単にpkgにできる形にするべきかな?
- Darwin用のpkgシステムとのZoularisとして統合は必要ないのか?
- Linuxのはsrpmとかにする必要はないのか?
- OS依存部のパッチやインストール方法の分離を意識した構造にする?

pkgsrc developerへのお願い

- pkgsrcを作る際はSunOS, Linux, Darwinも意識して作ってください
- それから、我々Zoularisユーザも協力しましょう

Zoularisのこと書かれたページ

- Zoularisのオリジナルのページ
<http://www.netbsd.org/zoularis/>
 - 和訳のページ
<http://www.jp.netbsd.org/ja/zoularis/>
 - KAMEのnewsletterでの紹介
<http://www.kame.net/newsletter/20020322/>
-